

令和5年度 第3回函南町環境審議会 会議録

[会議の開催の日時] 令和5年11月6日(月) 午後1時29分～3時3分

[会議の開催場所] 函南町役場 4階特別会議室

[出席者] 委員：(会長)八木戸委員、(副会長)森委員、鈴木(和)委員、
柿島委員、大隅委員、土屋委員、宮本委員、藤井委員
町：大沼厚生部長、加藤環境衛生課長、芹田課長補佐、笠井係長、
(委託業者)株式会社 長大 山本氏、玉置氏

[傍聴者] 1人

1 開会

2 挨拶

3 会議

<審議事項>

- ・函南町脱炭素化戦略及び地域温暖化対策実行計画(区域施策編)(素案)について
【事務局説明】函南町脱炭素化戦略及び地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(素案)
について

【質問及び意見要旨】

委員	函南町の脱炭素化に向けた施策の内容を整理するという説明があったが、これだけ網羅的なメニューがあって何をどう整理するのか。整理するにあたっての考え方があれば教えていただきたい。
事務局	施策の内容の詳細について再生可能エネルギーの普及を例にして説明する。2050年度の函南町として、再生可能エネルギー導入拡大に向けた取り組みの目指すべき姿を目標として立て、背景と課題、町の主な取り組み、町の率先行動、町民事業者に向けた導入促進、またアンケート結果について住民の方々がどのように考えているから町としてはこのような取り組みをしたいと整理をしたい。
委員	太陽光発電を函南町として推進していくことはわかるが、民間の方の力が必要だろうし、1つ1つとても大事だが、時間もかかり難いと思う。見せ方の問題でなんでもやりますではなく、函南町はこういう考え方で選択したというロジックがわかるとみている人はわかると思う。
事務局	資料の中の脱炭素シナリオは、町が持つポテンシャルについて全て挙げている形になっている。その中で函南町としてはどれが実現できるのかを取捨選択するので、資料で挙げたものを全てやるというわけではない。どのような形で活用できるのかということをこれから検討していく形になる。コスト面のことも考えながら検討していく。
会長	既に函南の中で小規模で実施しているものがある。そういったものを進める。可能性のあるものについて検討する。他にご意見はあるか。
委員	コストについて、環境に関わるものは元を取るというのは難しいものとする。例えば1千万円かけて、それが10年で1千万円の元が取れるといってもそういうわけでもないと思う。コスト面はどう考えているか。

事務局	コスト面については、個別にはなかなか充てることができないというのが実際のところである。他市町や民間の業者が導入しているものを参考にしながら、その費用対効果は考えていかなければならない。
会 長	コスト面も大変重要なことだと思う。進めるに当たって、国の支援、県の支援などを合わせて、検討の中に入れるということは大事なことでないか。それにより、現実的に推進することに繋がるのではないか。そのようなことも合わせて検討していただければと思う。
委 員	疑問に残るのが目標数値ばかりで具体例が何も出てきていない。太陽光発電はそんなに普及しているのか。家庭用の太陽光発電が、自給自足になれば進めた方がいいと思うが、太陽光発電のパネルの処理の問題も出てきている。遊休地、遊休農地の太陽光発電は、何か逆行しているようなことが現実起こっているのではないかと思う。具体的な例を一つ挙げてくれるとわかるのではないかと思う。
事務局	太陽光発電は、アンケート結果によると、事業者の72%の方が、補助制度等があれば導入したい、導入検討したいという意見があった。また町民の方には、現在函南町で太陽光発電と蓄電池を設置するにあたり、補助金を交付している。その54%の方が補助金の制度があることを知らなかったという回答がきている。この補助金の制度を知っていれば活用をしたい話もあったので、補助金を工夫して積極的にアプローチをかけることが、必要だと考えている。メガソーラー問題もあり、函南町における太陽光発電のポテンシャルの多くを建物の屋根を想定しているが、耐荷重や反射等の様々な問題点もある。大規模な土地系の太陽光発電については、函南町の自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例で規制をしており、十分配慮する必要がある。それと同時に、太陽光のパネル問題は、約25年から30年が寿命とされており、大量の廃棄が想定されている。廃棄パネルのリサイクルシステムは環境基本計画の方にも載せているが、十分注視をしていく必要がある。
委 員	その他の建物など、具体的にわかりやすくしてほしい。
事務局	わかりやすく説明をしたい。
委 員	太陽光については多分2030年くらいからパネルの処理の問題が出てくる。町民の方は、太陽光を導入するのはお金があれば推進したいのか、ごみの問題が解決されれば家でも導入したいのか。そのアンケート結果はあるのかどうなのか。パブリックコメントを通しながら皆さんどうしますかといったことを対話していくことになるのか。
事務局	太陽光発電設備とメガソーラーは別物だと考えている。災害関係は、レジリエンスという形、地域防災という形で今、自分たちで発電した太陽光発電と蓄電池を使って、災害時に使える形も必要だと考えている。アンケート結果の中で周知を、ということに関しては町の方で周知方法を工夫しながらやることを考えている。
会 長	目標値を立て、それをどう実現していくかを町民に周知する必要があると思う。メガソーラーは、災害面でかなり問題視されている。家庭用

会 長	の蓄電池があれば、災害がきたら自分のところの電気で賄えるがコストが非常にかかる。町もそれを推進するにはそれ相応の支援、予算建てでも必要になってくるのではという気がする。推進する、目標値を達成するためには裏付け的なものも周知することが大事ではないか。
事務局	コスト面が問題になってきていると考えている。アンケート結果でも町民・事業者ともに再生可能エネルギーの活用について、関心はあるがコストの問題を課題として挙げている。函南町の補助金も今町民向けという形で、町民にしか補助金交付をしていないため、町として、これからの施策をどのような形にしていけばいいかを考えていく必要がある。
会 長	他にご意見、ご質問はあるか。農地を利用したソーラー発電があるが、雑草対策などの資料、情報を伝えなければならないのではないかな。具体的な情報を合わせてやっていくことも大事ではないか。
事務局	今は例として再生可能エネルギーの普及ということで、調査に関してこれから事務局の方で作らせていただき、再度提示をさせていただくことで話をさせていただいた。その他省エネルギーの推進と、脱炭素なまちづくりの推進、環境教育・情報発信の推進、循環型社会の構築の4つについてもまとめて再度提示をさせていただきたい。

【事務局説明】 函南町脱炭素化戦略及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）について

【質問及び意見要旨】

委 員	アンケートをいつ取られたかという情報も載せるといい。再生可能エネルギーの温室効果ガス削減量の記載があるが、太陽光以外は空欄だが、空欄の理由についてどのような説明があるのか教えていただきたい。
事務局	アンケート結果の情報については掲載させていただく。温室効果ガスの削減量は太陽光しか載せていないが、中小水力と太陽熱の利用が若干あると思うので記載する。2050年度は、中小水力発電、太陽熱利用、バイオマス熱利用と、地中熱利用、これらについて、検証、技術開発によりケースへ載せる可能性があるということで修正をする。
委 員	ポテンシャルの表だけ見れば、風力とか小水力のポテンシャルもあると思う。函南町としてはおそらく太陽光を進めたいという意図があると思うので、政策上の意図がどこかに書いてあるといいのでは。アンケート結果や委員のコメントにも木質バイオマス発電や他のことも期待している声があるので、そのような町民の方の意見を考えれば、行政としての説明の仕方、この辺り表現をされるといいのではと思う。
事務局	バイオマスについては、木質バイオマスの資源量が限られているため、導入の可能性はかなり低いことを想定している。廃棄物のバイオマスは、資源化および堆肥化等の循環利用を促進するため可能性が低いと現時点では想定しているが、技術開発やコストダウン、また状況も変わる可能性があるので、ポテンシャルとして入れさせていただきたい。
委 員	関連して、同じ内容の表が他にもあり説明文があるが、これだけだと

委 員	わかりにくい。町の考え方、基準が不明確という気がするので、検討する必要があると感じた。
事務局	わかりやすいように修正をさせていただきたい。
委 員	町が推進する緑豊かなまちづくりの推進とあるが、脱炭素と緑豊かなまちづくりは緑を多くし、植物に炭素を吸わせて、今出ている炭素をなるべく取り込んで吸収させるという考え方で良いか。環境保全型農業や自然活用の推進について、どのような方法で進めていくことをお考えか。
事務局	環境保全型農業については、現時点で具体的な事がない。委員の方が詳しいので、ご教授いただけるとありがたい。
委 員	例えば、化学肥料など温暖化に悪いという話を聞いているので、有機農業推進法の中の有機農業推進協議会を立ち上げて、化学肥料をなるべく使わない農業を推進するなど啓蒙する方法がある。また農水省で進めているみどりの食料システム戦略と絡めて、有機を推進することで温暖化を防止する農業を広めることもできると思う。みどりの食料システムは農水の分野なので違うかもしれないが、有機を推進することで農業から出る温暖化に寄与する物質を減らすこともできるのではないかと思いますので、検討していただければと思う。
事務局	有機肥料の活用や温暖化を防ぐといった方法ということで環境保全型農業等の実例など、再度関係部署と連携をとり調査をしたい。追記で、農薬や減化学肥料栽培についても視野に入れていきたい。
会 長	他に意見はあるか。よろしいか。皆様からご意見をいただいたので、意見を踏まえて事務局の方で計画素案の修正を、また皆様方のご意見等あればいただければと思う。今後の流れについて事務局よろしいか。
事務局	今後の流れについて説明する。意見記入表を配付しているので、今回の素案について、ご指摘等があれば記入して提出をお願いする。いただいたご指摘の修正、追記、取り組みについて整理して直したものをもう一度皆様のお手元の方に配布させていただく。それについてもご意見等があれば、記入表をつけるので提出していただきたい。2 回目の修正を終えてからパブリックコメントにかけるのでご承知いただきたい。パブリックコメントは、1 カ月間ホームページ等で公表し、町民の皆様からご意見をいただく形になる。パブリックコメントを踏まえた計画案を第4回の環境審議会でご審議いただきたい。
会 長	パブリックコメント前にこれまでの修正をしたうえで進めていくということによいか。ありがとうございます。

4 その他
特になし

5 閉会

以上